

2023年10月23日(月) 取材ご案内**和歌山市 / 南海電気鉄道株式会社 / 事業構想大学院大学
共同記者会見**

日 時: 2023年10月23日(月) 10時45分より45分程度 <受付開始10時30分>

場 所: 和歌山市役所 7階 記者会見室 (和歌山市七番丁23番地)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、和歌山市(市長:尾花正啓)、南海電気鉄道株式会社(本社:大阪市浪速区、社長:岡嶋信行)、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学(本部:東京都港区、学長:田中里沙)の三者は、相互連携を強化し、和歌山市域の課題解決に資する地方創生の推進に向けた具体的取組みについて、三者共同の記者会見を実施いたします。

大変ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、何卒ご取材をご検討頂けますようお願いいたします。なお、誠に恐れ入りますが、会場準備の都合上、【10月20日(金)正午まで】に、必要事項をご記入の上、別紙の FAX 返信用紙、またはWEBフォームいずれかの方法にてご返信いただきますようお願い申し上げます。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■ 和歌山市・南海電気鉄道・事業構想大学院大学 共同記者会見

日 時 | 2023年10月23日(月)10時45分より 45分程度を予定

場 所 | 和歌山市役所 7階 記者会見室

(和歌山市七番丁23番地)

出席者 | 和歌山市長 尾花正啓

和歌山市議会議員 戸田正人

南海電気鉄道株式会社 社長 岡嶋信行

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 学長 田中里沙 ほか

プログラム | ご挨拶、取組みの概要説明、質疑応答、フォトセッション ほか

※なお、記者会見前に各者に対するご取材やお問合せはお控えください。

【報道関係者お問い合わせ先】

学校法人先端教育機構 広報室

TEL: 03-3478-8411 / FAX: 03-3478-8412

E-mail: koho@sentankyo.ac.jp

和歌山市 / 南海電気鉄道 / 事業構想大学院大学

共同記者会見 取材申込書

学校法人先端教育機構 広報室宛

FAX : 03-3478-8412 Email : koho@sentankyo.ac.jp

ご出席いただけます方はお手数ですが、
必要事項をご記入の上、10月20日(金)正午までにご返信くださいますようお願い申し上げます。



【アクセス】

和歌山市役所 7階 記者会見室

住所:和歌山市七番丁23番地

※ 当日連絡先

06-6372-8411(大阪校事務局)

リンク先Webフォーム・QRコードからも
お申込みいただけます。

<https://forms.office.com/r/BsAsgEQ6Dz>



ご出席

ご欠席 (資料希望)

御社名・御部署名	
御媒体名	
御芳名・御同伴者名	合計()名
撮影	無 ・ 有 (スチール・VTR)
御連絡先	TEL/Phone : FAX : E-mail :
掲載予定日	
備考	

※上記個人情報の取扱いに関して法令およびその他の規範に従い厳重に管理の上、
広報活動に必要な範囲で活用させていただきます。

■和歌山市について

和歌山市は、関西国際空港を活用しやすい地理的条件を備え、さらには第二阪和国道や京奈和自動車道、和歌山港区の整備により大阪方面や中部、関東方面へのアクセスが飛躍的に向上している県都です。

和歌の浦をはじめとする万葉の時代から人々を魅了してきた景観や加太・友ヶ島に代表される多島海景観など、海、山、川という豊かな自然に恵まれているとともに、県都として商業、医療、福祉、教育、文化など様々な高次都市機能が集積し、歴史や文化が彩る大きな魅力を備えています。

一方で、昭和60年をピークに人口減少が続いており、コンパクトシティの形成や高齢化対策など人口減少等にも対応した、安心して住み続けられる社会を構築していくことが非常に重要な局面を迎えています。

こうしたことを踏まえ、「第5次和歌山市長期総合計画」では10年後の将来都市像を「きらり 輝く元気和歌山市」と定め、それを実現するための4つの分野別目標「安定した雇用を生み出す産業が元気なまち」「住みたいと選ばれる魅力があふれるまち」「子供たちがいきいきと育つまち」「誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち」を示すとともに、市内各地域の魅力や特性を踏まえ、地域資源を活用したまちづくりや民間の方々との共創に取り組んでいます。

■南海電気鉄道株式会社について

私ども南海グループは、1885年の創業以来、大阪南部から和歌山を中心とした地域で、安全・安心・快適な鉄道等の輸送サービスを基軸とした幅広い事業展開を通して、社会課題と向き合いながら、沿線地域と共に成長・発展してきました。

地域社会を含む「ステークホルダーの皆さまと共に新たな価値を創っていく」という前中計からの“共創”の理念を受け継ぎながら、中期経営計画「共創140計画(2022～2024)」として、「公共交通事業のサステナブルな経営」、「選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大」、そしてDXや新規事業開発といった「未来探索」へ果敢に挑み、“2050年の企業像”として掲げる「沿線への誇りを礎に、関西にダイバーシティを築く事業家集団」の実現に向けて注力してまいります。

これからも「なんかいいいね」があふれてる」豊かでサステナブルな沿線づくりを実現し、満足と感動の提供を通じて、選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなるよう、引き続きまい進していきます。

■事業構想大学院大学について

2012年4月に東京・南青山に開学した、事業構想と構想計画を構築・実践する社会人向け大学院。事業の根本からアイデアを発想し、事業の理想となる構想を考え、実現するためのアイデアを紡ぎ、構想計画を構築していくことを対象とした多様なカリキュラムを提供しています。多彩な業界で活躍する教員・院生と議論を重ね、2年間で事業構想計画書の提出を経て、専門職学位の「事業構想修士(専門職)」(MPD: Master of Project Design)が授与されます。拠点は東京、名古屋、大阪、福岡、仙台の5校舎で、計572名が修了し、数多くのイノベーションとなる新事業が生み出されています。また、本学の附属研究機関である「事業構想研究所」では、企業・事業のプロジェクトベースでの研究が活発に実施され、既に2,400名以上が課程を修了しているほか、月刊『事業構想』等の出版を始め、研究書籍を発刊しています。その他、詳細は大学院HP (<https://www.mpd.ac.jp/>)をご覧ください。*公益財団法人 大学基準協会の大学認証評価(専門分野別・機関別認証評価)で「適合」評価 *厚生労働省の教育訓練給付金(専門実践教育訓練)に指定(国から最大112万円を給付)



事業構想大学院大学 大阪校舎

<資料提供先>

【大阪】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

【和歌山】和歌山市政記者クラブ、和歌山市地方記者クラブ、和歌山市放送記者クラブ

【報道関係者お問い合わせ先】

学校法人先端教育機構 広報室

TEL: 03-3478-8411 / FAX: 03-3478-8412

E-mail: koho@sentankyo.ac.jp